

みんこ

播磨町民生委員児童委員協議会

マークの意味

マークの図柄は昭和35年(1960)に公募して選ばれたものです。幸せのめばえを示す四つ葉のクローバーをバックに、民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合わせ、平和のシンボルの鳩を型取って、愛情と奉仕を表しています。

23号
(2015. 2. 1)



亀田龍昇さん(上野添)は多年にわたり単位民生委員・児童委員協議会会長として尽力された事にたいして、全国民生委員・児童委員連合会より表彰されました。



岡田すみ子さん(野添県住)は、多年にわたり民生委員・児童委員として住民の相談援助に努め、地域福祉の向上に尽くされた事にたいして、県知事より表彰されました。

平成26年度 会長・副会長がそろって受賞



乙未の新年 明けましておめでとうございます

播磨町の住民の皆様には、新しい年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、広島県の豪雨災害、御嶽山の噴火による被害、その他の様々な災害等により亡くなられた方々のご冥福を祈ると共に、一日も早い復興を祈るものであります。

昨年は、私たち民生委員・児童委員協議会にしましては、悉皆調査を始め、様々な事で町民の皆様には多大なるご協力を賜りました事、厚く御礼申し上げます。新しく改選された民生委員・児童委員は、一年間勤めさせて戴きましたが、まだまだ皆様には私達の活動に様々なご意見もあろうかと存じます。委員全員が高齢者、児童、障がい者等、播磨町の地域福祉の向上に精一杯勤めてまいります。今後とも、皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶を申し上げます。

播磨町民生委員・児童委員協議会

会長 亀田龍昇

心のおもむくままに

この1月古希を迎えました。懐具合は徐々に細り幾分寂しさはありますが、代わり自由になる時間が増え、その分夢も膨らみます。四国八十八か所めぐり、ローカル線の旅、グランドゴルフ等々思い巡らすこの頃ですが、とは言え長年この地域にお世話になった恩返しが少ないことも出来ればと、いきいきサロンのお手伝いをしており、2月頃から百歳体操を計画しております。わたくしを含めてこの地域に暮らすお年寄りが孤立しないよう、また楽しく自分の力で日常生活が営めるよう健康寿命を延ばすことに少しでも貢献できればうれしく思います。



(K)

平成26年度 東播磨ブロック(3市2町)

民生委員・児童委員協議会会長会 主任児童委員連絡会議開催

7月17日(木)に3市2町(加古川市・明石市・高砂市・稲美町・播磨町)における、民生委員・児童委員協議会会長連絡会が、播磨町健康いきいきセンターで開催されました。議題に添って各地区の活動報告と実情を報告し、活発な意見交換がなされました。各市町により民生委員・児童委員協議会運営に多少の違いはありますが、同等の年間行事内容でした。



午後からは、各地区の主任児童委員が集まり主任児童委員連絡会議が行われました。

兵庫県中央子ども家庭センター家庭支援課課長 前淵敏樹氏による「児童をとりまく現状について」の講義のあと、NAGATA ケアマネジメント研究所主宰 長田貴氏による「児童委員活動における相談支援の心構えと傾聴技法について」の講演がありました。

命と人生を大切に

危険薬物・ドラッグには絶対手を出さない!!

危険ドラッグは「お香」「バスソルト」「合法ドラッグ」「脱法ハーブ」などと称して販売され、最近では危険ドラッグの影響とみられる交通事故等が相次いで起きています。覚せい剤などの規制薬物はこれまでの研究から、心身に及ぼす影響などが分かっていますが、危険ドラッグは原料に何が含まれているのか、また人体にどのような悪影響を及ぼすのか全く分からないため、より危険な薬物といえます。

いきいきサロン



昨年は福祉用具の説明も受けました。時には警察官を招き、おれおれ詐欺・ひったくり予防の説明を受けたりと、和気あいあい楽しい時間を過ごしています。

大中東いきいきサロンは、有志が立ち上げて9年が過ぎます。月に一度の集まりは、青山脈の曲に合わせた体操から始まります。ボランティアの方々のお世話で、年間を通してお花見、雛祭り、お月見、紅葉散策、バス旅行などがあります。



編集後記

これからも町民の皆さんに尚一層の情報発信に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。(Y)

許してはならない児童虐待!!

児童虐待相談ダイヤル
0570-0664-000

オレンジリボンキャンペーン in大中遺跡まつり



皆で見守ろうー変質者による児童連れ去り事件

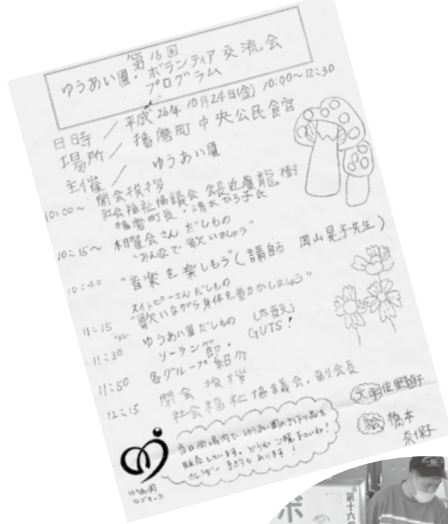
虐待や児童の連れ去り事件のニュースが後を絶たず、いたたまれない気持ちになります。

11月はオレンジリボン月間、大遺跡まつりで啓発活動をしました。当日はあいにくの雨でしたが、かざ車も大人気でたくさんの子供たちと触れ合うことが出来ました。



ゆづあい園との交流会

ゆづあい園の皆さん・ご家族・そして大勢のボランティアの方々が集い、第16回のボランティア交流会が開催されました。園生による元気いっぱいのお太鼓演奏では会場から大きな拍手が湧き上がりました。私たち木曜会も「鉄道唱歌・播磨町版」や「ふれあいの歌」を披露しました。どのグループも和気あいあい、時のたつのを忘れ楽しいひとときでした。



より良い活動に向けて

播磨町民生委員・児童委員協議会は、児童母子部会、障がい者部会、高齢者部会の3部会があります。それぞれの部会が研修や日々の経験などを通して得た知識を生かしているようがんばっています。

児童母子部会は「県立清水が丘学園」、姫路市にある児童養護施設「信和学園」を訪問しました。不登校から虐待へ、子ども達の問題が様変わりしています。日々の幸せを感じながら普通に生活できるよう、いろいろなルールのもとで指導されている様子を見る事が出来ました。「より家庭的な環境が子ども達の幸せに繋がる」「大人が気付き変わることで子どもが変わる」心に残った言葉でした。



県立清水が丘学園



障害者支援センター
沢谷荘

障がい者部会は三田市にある「沢谷荘」を訪問しました。平成26年5月地元協力のもと、沢あり・谷あり・のどかな自然・安らぎをおぼえる環境の場所に新しく生まれ変わりました。施設長の説明では支援専門員が少なく大変との事。本人と家族の考えの違いが大きな課題：モニタリングも行っています。三田市には三カ所の施設がありますが、待機者がたくさんいるそうです。施設内のパン工場その他作業所で活躍されています。社会に出た時、温かく迎えてくださるよう：幸多い日が訪れることを願いつつ支援センターを後にしました。

高齢者部会は9月中旬、特別養護老人ホーム「はちぶせの里」を訪問しました。四方を山に囲まれ厳しい気候の所ですが、四季折々目を楽しませてくれる所でもあります。認知症対応型共同生活介護について詳しく説明を受けました。地域住民の暖かいご支援も多くあるそうです。午後からは「県立但馬長寿の郷」を見学し、福祉用具の説明を受けました。高齢者や障がいのある方々をはじめ誰もが暮らしやすいよう個々に適応した器具を実際に体験試乗し、その便利さに驚かされました。



はちぶせの里

子ども達の見守り

子ども達の学校生活や地域生活について、先生方と懇談をします。運動会や体育祭では元氣いっぱい躍動する子ども達の成長した姿を見ることが出来、私たちも元氣をもらいます。



幼稚園



小学校



中学校

